

経済産業大臣

武藤容治殿

風車ブレード落下事故を踏まえた  
陸上風力発電施設の保守・管理に  
関する緊急要望

令和7年5月8日

秋田市長 沼谷純

---

---

## 風車ブレード落下事故を踏まえた陸上風力発電施設の 保守・管理に関する緊急要望

---

---

5月2日に秋田市において発生した、陸上風力発電の風車ブレードの落下事故により、市民の尊い命が失われたことは大変遺憾であり、非常に重大な事案であると受け止めております。

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、風力発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入促進に取り組む本市として、風力発電事業をさらに進めていくためには、事業の安全性と信頼性の確保が不可欠であると捉えており、今回の落下事故のような事案が再び発生することのないよう、国・県・市町村の連携により対策の強化を図っていく必要があると考えております。

つきましては、国において、次の事項について迅速かつ適切に対応していただきますよう要望いたします。

### 1 事故原因の早期究明について

○ブレード落下事故の原因を早期に究明するとともに、その内容を速やかに関係自治体に提供すること。

### 2 風力発電における安全対策の強化・徹底について

○事故原因を踏まえつつ、設置および運転管理に関する現行の安全対策の強化を検討すること。

○そのうえで、発電事業者に対し、安全対策の徹底を改めて周知、指導すること。

### 3 安全基準の見直しと自治体の関与について

○陸上風力発電の風車の周辺へ住民が容易に立ち入ることができないよう、今後、離隔距離の基準を明確化するなど、安全基準の見直しを検討すること。

○風力発電の設置や管理について、県および市町村が一定程度、関与できる法的な仕組みづくりを検討すること。